

クボタ農業用ドローン

MG-1K/MG-1SAK/MG-1RTK
T10K/T20K/T25K/T30K



For Earth, For Life
Kubota

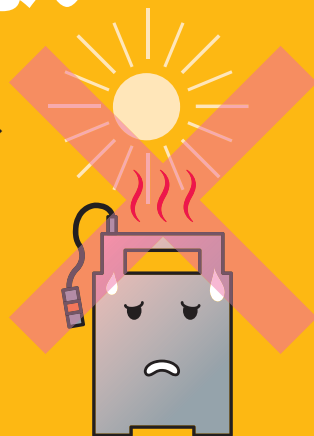
1. バッテリーに 衝撃を 与えない



落としたり、なんらかの
損傷を受けたバッテリー
は使用しないでくださ
い。バッテリーの
火災や爆発の
原因になり大
変危険です。

2. 高温となる場所で 充電、使用および 保管しない

夏の炎天下など、50℃
を超える使用環境で
バッテリーを使用すると、
火災や爆発につな
がる恐れがあり
大変危険です。



〈農業用ドローン〉

バッテリーを正しく使って 安全な防除作業を!



劣化したバッテリーを使用すると、

出力不足による
飛行の不安定

火災や爆発、
ドローンの墜落



など、危険な事故につながる
おそれがあります。

3. 劣化したバッテリーを 使用しない

飛行時間が極端に短くなったバッテリーは使用を中止し、
販売店へ点検を依頼してください。

⚠️ ドローン用バッテリーの取扱いに関する注意喚起

バッテリーの長時間使用による散布作業中の事故が増加しつつあります。バッテリーには可燃性の電解質が含まれており、一度発火すると大きな火災に発展するおそれがあります。また、使用環境や使用状況により、バッテリーの性能は低下します。安全に作業頂くために、以下の点にご注意ください。

警告が出たときは、速やかに着陸を!



バッテリー残量が[重度の低電圧アラーム]警告設定値(15%)より少なくなると、フェイルセーフ(安全制御)が働き、ドローンがその場で自動降下して着陸します。この時、スロットルコントローラスティックを上倒すことで、ドローンの高度維持や上昇をさせることができますが、飛行を続けると機体の墜落やバッテリーの発煙・発火に至るおそれがあるため、その場に速やかにドローンを着陸させてください。

※バッテリー残量の警告設定が「重度の低電圧アラーム」15%以上になっていることを確認してください。

古いバッテリーを使用するときは要注意



5年以上使用したバッテリーについては、[低電圧アラーム](25%)が出ない範囲で作業してください。[低電圧アラーム](25%)が出た場合は、そのまま飛行を続けるとバッテリーの発煙・発火に至るおそれがあるため、その場に速やかにドローンを着陸させてください。

※バッテリー残量の警告設定が「低電圧アラーム」25%以上になっていることを確認してください。



下記の場合はバッテリーが劣化している可能性があり、飛行を続けるとバッテリーの発煙・発火に至るおそれがあるため、すぐにご使用を中止して販売店へご連絡ください。

バッテリー残量が[重度の低電圧アラーム]警告設定値(15%)より多い状態にも関わらずドローンが自動降下した場合

離陸後、散布開始するまでの間に一旦ホバリング状態にして、送信機のバッテリー情報画面を確認し、セル状態が緑(離陸前)から赤(離陸後)となる場合 ※フライト毎に確認してください。

飛行時間が極端に短くなった場合

注意事項

※バッテリーの使用は、クボタ農業用ドローンの取扱説明書に従って使用してください。
※バッテリーの不適切な使用をした場合、保証の対象外となります。



【販売元】株式会社クボタ
本社 大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号
〒556-8601

【製造元】
DJI
東京都港区港南1-2-70 品川シーズンテラス11F
〒108-0075

クボタ製品
WEBサイト



YouTube
クボタチャンネル



facebook
営農ナビ



製品の詳しいご相談は下記までご連絡ください。



取扱説明書をよく読んで正しく安全に使いましょう。
農業機械はじゅうぶんに点検整備するように心がけましょう。

コード No. **7-30-3-0080-01**24Z SP, OP '24・12作成.5.